

新小ユニバーサルデザインの取組

学力向上推進チーム

新潟小学校では、誰もが参加できる、誰もが分かる授業になるために、学習環境、学級づくり、授業の3つの観点から、12項目「新小ユニバーサルデザイン」を考え、全校で取り組んでいる。

(1) 学習環境

①前面黑板とその周りの整理・整頓

授業中、子供たちの思考を妨げることなく、集中して取り組むことができるように、前面黑板とその周りは整理・整頓し、すっきりさせている。また、小黑板を全ての学級に掲示し、1時間の学習の流れを記載し、学習の見通しをもたせている。

②人間環境を配慮した座席やグループ決め

落ち着いて誰もが参加できるように、学級内の人間関係の実態や子供の特性などに配慮しての座席やグループを決める。

③授業の開始時刻と終了時刻を守る

子供だけでなく、教師も授業時間を守る。時間の大切さと集中できる時間に配慮した指導。

(2) 学級づくり

④子供の望ましい行動を適宜に取り上げ、即座に称賛するようになっている。

声掛けやジェスチャー、表情などで、子供に伝わるような工夫。

⑤友達のよさや努力を認めることができた子供を称賛するようになっている。

教師が進んで称賛する。よさや努力を友達同士で認められるような声掛け。

(3) 授業

⑥場に応じた声の大きさを話そうにする

相手や場面に応じた声の大きさを意識できるように声の大きさを数値化し指導。

⑦ふわふわ言葉で話す

相手のことを考えた優しい言葉遣い「ふわふわ言葉」で話そう指導。子供たちの名前を呼ぶときは「さん」付け。発表場面は「～です。」「～ます。」で話す。

⑧課題とまとめを明確にし、授業の流れが分かるように板書をする

課題は赤囲み、まとめは青囲みで統一し、板書コレクションなどを活用した分かりやすい板書指導。

⑨学習活動に応じた学習形態を取り入れている

- ・「一人」：自分の考えをじっくり考える 感想を書く 振り返りなど。
- ・「ペア」：お互いに意見を話す 聴き合う 練習し合うなど。
- ・「グループ」：ファシリテーション 話し合い 協同学習 作業学習

⑩多様な方法で、発言や発表をさせている

ネームプレート、ミニホワイトボード、KJ法、ファシリテーションなどの活用。

⑪支援の必要な子供を見取り、支援を行っている

個別の教育支援計画、個別の指導計画を基にした学習指導や授業中の配慮。

⑫視覚的の手がかりを添えて、簡潔に説明している

PC、タブレット、実物投影機、絵カードなどを活用した視覚的支援。

示した内容は、当たり前のことばかりである。しかし、常に意識して指導することは難しい。新潟小学校の職員全員で共通理解を図り、指導を行うことで誰もが参加でき、誰もが分かる授業に取り組むことができると思う。